

## 協 定 書

本年秋に執行される富山県知事選挙にあたり、自由民主党富山県支部連合会と立候補予定者 石井 隆一は、次の基本的事項、政策について合意した。

自由民主党富山県支部連合会は、この合意に基づき、石井 隆一 氏を推薦し、総力をあげて支援する。

### <県政推進の基本姿勢>

1 自由民主党の理念と政策を尊重し、自由で公正な社会を守り、自由民主党富山県支部連合会と知事並びに県内市町村が連携をさらに強化し、デジタルトランスフォーメーション(以下DX)を加速化させ、我が国の社会構造を「大都市集中型」から新型コロナウイルス感染症の脅威にも強くしなやかに対応し、持続的に成長できる「地方分散型」に変えることで、真の地方創生を進め、もって富山県の限りない発展と県民の自立と幸せを実現することを県政推進の基本とする。

### <とやま未来創生の推進>

2 新たに策定した「第二期とやま未来創生戦略」に基づき、また、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変容を踏まえ、特に若者・女性の東京などへの人口流出に歯止めをかけ、本県への更なる移住・定住を促進することにより、社会増への転換を図るとともに、子どもを生み育てやすい地域づくり、仕組みづくりに県民総参加で取り組み、県民希望出生率1.9の実現を目指す。

そのためにも、第5世代移動通信システム(以下5G)・光ファイバー網の整備促進を図ることで AFTER コロナへ向けた富山県における地方創生加速化の基盤整備を進める。

コロナの第二次、第三次の到来と経済への厳しい影響等にも備え、「ものづくり県とやま」を次世代に継承できるように、新たなビジネスモデルの構築、先端技術の活用による新商品開発、事業の承継・発展を図るとともに、県内経済の持続的な成長・発展の基本となる社会資本整備を中長期視点から積極的に進める。

さらに、富山県中山間地域創生総合戦略や富山湾未来創造調査会の提言を推進することで富山県の魅力を向上させ、県内市町村が、自然・歴史・文化、伝統など地域資源を活かし、個性と魅力あふれる持続可能な地域の創生に取り組めるよう、適切かつ積極的に支援する。

### <「新しい生活様式」にも対応した社会基盤等の整備>

3 北陸新幹線の大阪までの早期開業、東海北陸自動車道の全線4車線化など高速交通網の整備促進、港湾の機能強化、空港の航空路線拡充など、陸・海・空の総合的な交通・物流ネットワークの充実を加速する。加えて、並行在来線の持続可能な経営支援やバリアフリー化等の利便性の向上など、地域公共交通ネットワークの充実を図るとともに、JR西日本から提案のあった城端線・氷見線のLRT化に向けた検討を進める。また、教育・医療機関におけるオンライン環境整備のため、県内一円に光通信網を早急に整備する。

また、黒部ルート的一般開放、最先端のロープウェイ整備など立山黒部の世界ブランド化を推進するとともに、コロナ禍によりインバウンドが当面期待できない中、感染拡大防止を図りながら地域経済を再興する視点で、マイクロツーリズム、すなわち地域の魅力を再発見する安心安全な「WITH コロナ時代の観光」を早急に押し進めるなど、選ばれ続ける観光地づくりに積極的に取り組む。

なお、社会基盤の整備にあたっては、特に施設等のバランスある配置など、県土の均衡ある発展に配慮する。

### <経済の活性化と力強い産業の振興>

4 医薬品1兆円産業の実現、アルミ・ヘルスケア産業の振興など、本県経済の活性化に取り組むとともに、中小企業・小規模事業者の事業承継におけるM&Aの活用促進、テレワークや ICT の活用による労働生産性の向上などDXを推進することにより、総合的な雇用対策やより良い労働環境の実現に努める。

DXを活用したものづくり産業の高度化や産学官・農福連携の強化、医薬工連携による成長産業の育成、デザインを活用した伝統工芸の高付加価値化や多彩な企業誘致、中心市街地の魅力向上、県内企業のグローバル展開への支援など、本県経済を牽引する富山ならではの力強くしなやかな産業の振興や富山ブランドの確立を図る。

また、選ばれるトップブランド米「富富富」のブランド戦略を推進し、併せてスマート農業を加速化することにより生産性の向上と生産者の所得向上を実現、担い手の確保・育成を推進し、農業の基盤・体質強化を図る。加えて、県産材の利用促進による林業・木材産業の成長産業化や、富山湾の特性を活かした水産業の振興、県産農林水産物の輸出促進、中山間地域をはじめ農山漁村の活性化に努める。

### <富山の未来づくりと文化・スポーツの振興>

5 富山の未来を担う心豊かで創造性に富み、社会性を備えた人材の育成をめざし、富山県教育大綱を踏まえた「真の人間力」を育む本県ならではの教育方針を推進する。さらに、学校における少人数教育、GIGAスクー

ル構想の実現や多様な教育ニーズに的確に対応する教職員配置と、家庭・地域における教育力の向上に努める。

地域社会においては、若者、女性、高齢者がそれぞれの能力を十分発揮できる環境づくりや働き方改革の推進、男女共同参画社会の実現、幅広い分野でのボランティア支援に取り組む。

また、本県ならではの質の高い文化を創造し、富山から国内外に発信するなど芸術文化の振興に努めるとともに、2020年東京五輪・パラリンピックの機会を捉えスポーツを通じた地域づくり・ひとづくり、生涯スポーツの普及やスポーツ人材の育成を図る。

### <WITH・AFTER コロナ時代における、安全・安心な保健・医療・福祉施策の推進>

6 新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応で明らかになった諸課題を踏まえ、感染症予防計画の改定や地域医療構想への反映、医師・看護師・介護従事者の人材確保、有事に対応できる保健・医療・福祉のネットワークづくり、感染症に対応できる地域包括ケアシステムの構築など、県民が安心して暮らせる基盤づくりを推進する。また、がん対策や健康寿命の延伸をはじめ県民の心身両面の健康づくり、高齢者・障害者・子ども・社会的弱者への世代や属性をこえた包括的な福祉の充実を図り、誰もが住み慣れた地域で健康に生活でき、共に支え合う共生社会の確立に努める。

### <未来を担う子ども達の安全・安心の確保>

7 未来を担う子ども達の権利や安全・安心を確保するため、いじめや不登校、様々な学びの場の確保に積極的に取り組むとともに、悩みを持つ子どもたちへの相談支援体制の充実を図る。

子ども自らが犯罪被害や自然災害、交通事故等の危険から身を守ることができるよう、主体的に行動し、自ら危険を予測・回避することができるよう、安全教育や情報モラル・メディアリテラシーの向上など被害防止のための教育に努める。

また、子どもの貧困対策やひとり親世帯への支援を積極的に進める。

### <日本一の安全・安心と環境・エネルギー先端県づくり>

8 東日本大震災や熊本地震、大型台風やゲリラ豪雨等を教訓とした防災・減災対策の強化はもとより、コロナ禍の経験を踏まえた感染症対策の強化など、強靱でしなやかな県土づくりを進めるとともに、市町村や隣県と連携した原子力災害対策や防災・危機管理体制の充実を図る。

また、食をはじめとする消費者の安全確保、警察の施設設備の充実や総合的な交通安全対策、犯罪被害者等の支援など県民の安全・安心を守る取組みを積極的に進める。

さらに、SDGs(持続可能な開発目標)を踏まえ、豊かな森づくりや水源の涵養、再生可能エネルギーの導入やメタンハイドレート資源開発研究の推進をはじめとする省資源・省エネルギーの推進、環日本海地域の環境保全、食品ロス等の削減など「環境・エネルギー先端県」の実現に向けた取組みを強力に進める。

### <地方分権と行財政改革・広域連携の推進>

9 令和2年度を「地方創生加速化元年」と位置付け、暮らしやすく働きやすい富山県を実現するためのDXを推進するとともに、ICTやAIを活用し行政運営の効率化を図る。また、引き続き税財源の確保に努めるとともに、メリハリのある予算配分など不断の行財政改革に取り組む。

さらに、北陸新幹線の大阪開業を見据え、北陸・関西・中部圏を中心とした県域を越える広域連携にも積極的に取り組む。

### <WITH・AFTER コロナ時代への対応と「元気とやま」の創造>

10 新型コロナウイルス感染症の問題を通して、医療面の充実強化をはじめ、衛生意識や衛生水準の一層の向上、地方の暮らしを可能にする情報通信基盤の早期整備、リモート教育にも対応できるハードの整備と教員の教育力の向上、行政のデジタル化の推進などの新たな課題が鮮明となった。WITH・AFTER コロナ時代の社会経済ビジョンを策定し、これらの課題に戦略的に取り組むとともに、「活力」「未来」「安心」の3つの基本政策とそれらを支える重要政策「人づくり」を着実に実行し、誰もが輝いて生きられる元気な県づくりを目指す。

この協定の締結を証するため、両者署名押印のうえ、それぞれ1通を保有する。

令和2年7月11日

自由民主党富山県支部連合会会長

富山県知事選挙立候補予定者

宮腰 光寛  
石井 隆一

